

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県新規産業創出支援センター(ネクスト香川)		
所在地	高松市林町2217-44	供用開始年度	平成11年度
施設の種類	産業支援施設	施設設置根拠	香川県新規産業創出支援センター条例
設置目的	企業等の技術の高度化や新分野進出等を支援することにより、本県の産業の振興を図る。		
施設運営方法	全部委託・指定管理((公財)かがわ産業支援財団)		
整備事業費	1,722,336千円	施設の概要	
県債	927,000千円	【施設】 鉄骨造・3階 敷地面積2,500㎡、延床面積2,721㎡ インキュベート工房、EMC総合試験施設(大型・小型電波暗室等)	
国庫支出金	640,740千円		
一般財源	154,596千円		
利用料金	使用料	【職員の状況】	
インキュベート工房使用料	1,560~1870円/㎡	指定管理者職員 5名(うち2名はFROM香川兼務)	
電波暗室使用料	2,280~35,780円/時間		
会議室使用料等	110円~1,560円/時間		
電磁波特性試験手数料	4,930円~30,710円/通		
電磁環境試験成績書発行手数料	420円~22,000円/通		

行政コスト計算書					
【行政コスト】		令和	2年度	(千円)	
	項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	15,736	12.3%	16,019	△ 283
	退職給与引当金繰入等				
	小計	15,736	12.3%	16,019	△ 283
物にかかるコスト	物件費	11,715	9.2%	10,518	1,197
	維持補修費	67,297	52.8%	61,420	5,877
	減価償却費	27,404	21.5%	28,292	△ 888
	その他				
	小計	106,416	83.4%	100,230	6,186
その他のコスト	公債費(利子のみ)	132	0.1%	388	△ 256
	その他	5,262	2.1%	2,135	3,127
	小計	5,394	4.2%	2,523	2,871
行政コスト合計 ①		127,546	100.0%	118,772	8,774

【収入項目】					
	項目	当該年度	構成比	前年度	増減
	使用料・手数料	53,866	42.2%	59,079	△ 5,213
	国庫支出金				
	その他	0			
	計 ②	53,866	42.2%	59,079	△ 5,213
	県単独負担額 ①-②	73,680	57.8%	59,693	13,987

● 県債残高(R3.3.31現在)
190,837千円

● 利用の状況
(インキュベート工房入居企業数)

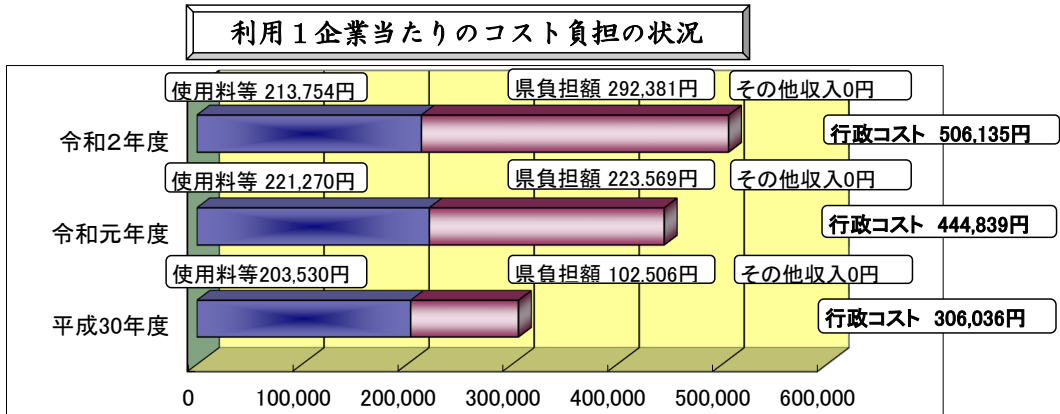
H30	6社
R元	7社
R2	7社

(EMC総合試験施設利用企業数)

H30	延べ245社
R元	延べ260社
R2	延べ245社

● コスト指標
(利用1企業当たりのコスト)

H30	306,036円
R元	444,839円
R2	506,135円



● コスト縮減、利用向上に向けた取り組み状況
施設の利用者に対し、こまめに節水・節電などの呼びかけを行うことにより経費の節減に努めた。指定管理者のホームページ等への掲載、企業訪問などによりインキュベート工房の入居者募集を行った。一般型に加え、新たに情報通信型インキュベート工房を設け、多様なニーズに対応しているほか、指定管理者のホームページでEMC総合試験施設の紹介及び予約状況を掲載するとともに企業を対象に、施設の周知説明会等を行った。